

1. G I G Aスクール構想の実現

- ・ Society5.0 時代を生きる子どもたちにとって、教育における ICT を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校 ICT 環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きい。令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律の ICT 環境整備が急務。
- ・ このため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT 機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用の PDCA サイクル徹底等を進めることで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。

2. 令和2年度整備状況

(1) 校内通信ネットワーク整備

各小中学校内のネットワーク環境を再整備し、教育 ICT 環境の高度化を図る

【主な整備内容】

- ・ 新規に LAN 配線を敷設する
- ・ 普通教室、特別教室等 ICT 環境が必要な場所へ電波が届くように無線アクセスポイントを設置する
- ・ 端末を充電・保管するためのキャビネットを設置する

(2) 端末整備

児童生徒1人に1台の端末を整備する

【主な整備内容】

- ・ 新たに1,986台の端末を購入する
※既存の端末618台とあわせると、情報教育用端末は2,604台（児童生徒用2,413台、教員用191台）となる
- ・ すべての端末で、協働学習支援ツール、各教科のドリルソフト、フィルタリングソフト（インターネットの有害サイトをブロックするシステム）が使用できるよう設定をおこなう

「児童生徒へ1人1台の端末整備に向けて校内通信ネットワークを高速化する。」

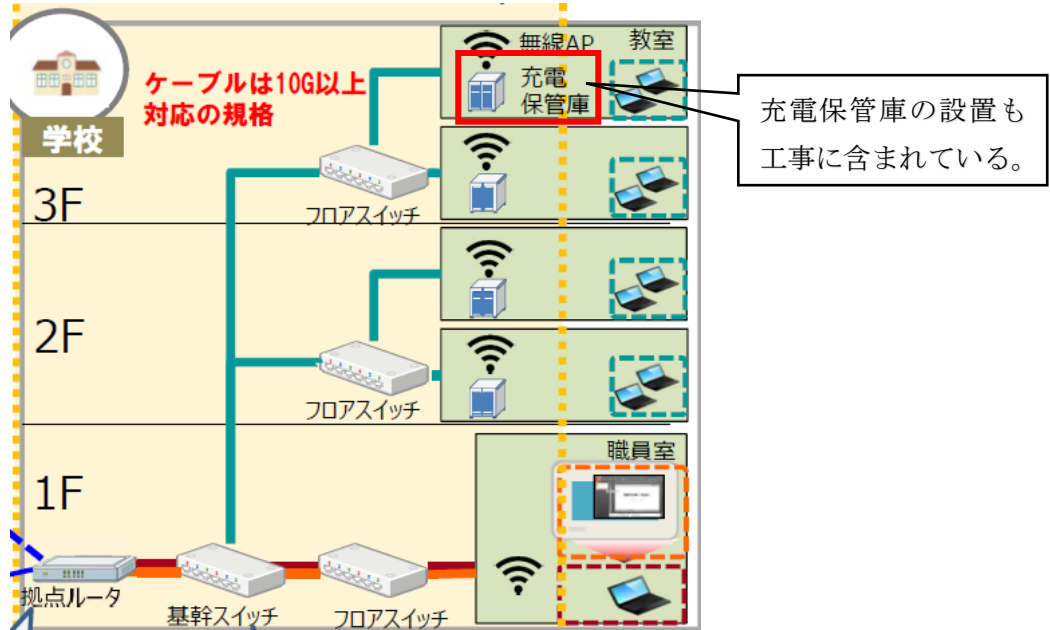


図 GIGA スクール構想 校内通信ネットワーク構築イメージ

【LAN 配線工事図面例】

